



堀沢八郎さんが自費出版

中学校の英語教師をされていた筆者が、定年後、自分の英語をもう一度ブラッシュアップしたいと、ミシガンの大学院にチャレンジされた四年三ヶ月の奮闘記である。安易な気持ちで渡米した自分の愚かさを知り、反省をこめて記録したと序文に書いておられるが、冒険小説を読むような痛快さがあり、とにかく前へ前へと突き進むチャレンジ精神に驚き感動し、一気に読んでしまった。留学による奥様との関係はただならぬ緊張感をもたらすものの、ユーモアを交えた記述から仲の良いご夫婦像が浮かび上がり、積み重ねられた熟年夫婦の機微に触れた想いがした。旅は日常と離れた異質な面を愉しむものであるが、そこに住むとなれば、異質な部分は敵となり、襲い掛かってくる。そんな中で、教会で親切なご婦人に出会い、祭儀が終わって別れるときに「行ってらっしゃい」と言われたこと、スーパーで車椅子の老人に買い物の手伝いを申し出られたという体験は、筆者ならずとも考えさせられるものがあった。白眉は宇宙飛行士の毛利衛さんとの対話で、現代のカソリック信者にとっても、科学者の宗教観は大いに参考になると思う。(後藤明憲)

な中で、教会で親切なご婦人に出会い、祭儀が終わって別れるときに「行ってらっしゃい」と言われたこと、スーパーで車椅子の老人に買い物の手伝いを申し出られたという体験は、筆者ならずとも考えさせられるものがあった。白眉は宇宙飛行士の毛利衛さんとの対話で、現代のカソリック信者にとっても、科学者の宗教観は大いに参考になると思う。(後藤明憲)

「はじめまして！」

ミカエル 山本 光太郎

今年4月に金沢教会から城北橋教会へ転入してきました山本光太郎です。名古屋芸術大学短期大学部音楽科に入学して、今は北名古屋市で一人暮らしをしています。この夏になってようやく家事にも慣れてきました。

城北橋教会へは晴れの日には実家から持ってきた自転車、雨の日には電車で通っています。最初に来たときは、入口前の桜がとてもきれいだと思いました。私は口下手な上、人見知りをしてしまうこともあり初めて行く場所などではやはり多少不安なこともあったのですが、こちらの教会を何も知らない自分にも色々親切にしてください人たちがいて、とても嬉しく思いました。

また、私が中学、高校の頃は休日も吹奏楽部の活動で忙しく、あまり教会に行くことができなかつたけれど、今はこちらで年齢の近い教会での友達と関わることも出来て楽しくていいなと思います。

こちらに来てもう3カ月ほど経ちますが、時々ミサでオルガンを弾かせて頂いています。学校での専攻はコンピュータと作曲ですが、演奏の方も技術を磨いていきたいと思っていますので、よくアドバイスを下さる方々にも大変感謝しています。口下手な上に文章を書くのも苦手で短い挨拶となってしまいましたが、これからもよろしくお願ひします。

